

## 介護分野で働く「滋賀の福祉人」研修

県内のどの地域においても、一定水準以上の介護が提供されるよう、我が国の社会福祉の成熟に寄与した本県の先人の活動やその本質に学びつつ、倫理観や対象者理解、権利擁護など、介護に携わる職員がキャリアに応じて習得すべき知識・スキル・モラルの3つの能力を育成する

階層	新任期 (3年未満)	中堅期 (5年未満)	チームリーダー (5年以上)	管理職 (10年以上)
研修目的	福祉職場に従事する者として、倫理観を持つことができるよう介護の本質や権利擁護について学ぶ。 また、介護の基礎知識、技術を学び職場での指示に基づき介護を行うことができるようになる。	尊厳と自立に基づく介護理念の理解を深めるとともに、介護過程による介護実践が出来るよう事例演習を交えて学びを深める。また、職場での中心的役割を担っていることを自覚し、自身の判断で介護が提供できるようになる。	介護ニーズの多様化や高度化を理解しチーム介護に必要な知識・技術・モラルを学ぶ。 また、介護の質の向上・改善のためチーム員の人材育成の役割が理解できるようになる。	組織目標の達成に向けて、自身に求められる役割を理解し、組織の課題解決やマネジメントに必要な知識・技術・モラルを学ぶ。 また、自身の役割遂行の為に行動計画が作成できる。
研修内容 (分野共通)	<p>①現場実践に学ぶ 5h 現場実践から福祉従事者としての基本的な姿勢を学ぶ</p> <p>②福祉従事者としての社会的責任 2h 過去の事例から福祉従事者としての社会的役割と責任を学ぶ</p> <p>③当事者の暮らしから学ぶ 3h 当事者の暮らしから当事者主体、当事者理解の意義を学ぶ</p> <p>④先輩職員交流 3h 先輩職員の体験談や受講者同士の意見交換から自身の目指す姿を考える</p>	<p>①現場実践に学ぶ 5h 現場実践から福祉従事者として当事者支援の中心的立場としての姿勢を学ぶ</p> <p>②福祉従事者としての社会的責任 2h 過去の事例から権利擁護支援の視点、福祉従事者としてのあり方を学ぶ</p> <p>③当事者の暮らしから学ぶ 3h 当事者の暮らしから当事者主体の本質を知り、自己決定支援のあり方を学ぶ</p> <p>④先輩職員交流 3h 先輩職員の体験談や受講者同士の意見交換から自身の目指す姿を考える</p>	<p>①現場実践に学ぶ 5h 現場実践から福祉従事者として、チームリーダーとしての姿勢を学ぶ</p> <p>②福祉従事者としての社会的責任 2h 社会問題に関わる事例から福祉従事者としての社会的役割と責任を考える</p> <p>③当事者の暮らしから学ぶ 3h 当事者主体の本質や福祉サービスだけではなく支援のあり方を学ぶ</p> <p>④福祉マネジメント 5h 幅広い福祉ニーズに取り組んでいける福祉実践者の育成を学ぶ</p>	<p>①現場実践に学ぶ 5h 現場実践から福祉従事者として、管理的立場としての姿勢を学ぶ</p> <p>④福祉マネジメント 5h 制度の有無に関わらず福祉ニーズに関心を寄せ、実践できる人材育成を学ぶ</p>
研修内容 (介護分野)	<p>①介護過程の基本 3h ・根拠のある介護の提供 ・ICFによる利用者理解の視点</p> <p>②生活支援技術(1) 3h ・生活支援の知識と技術の基本 ・自立支援と身体介護の基本理解</p> <p>③生活支援技術(2) 6h ・移乗や着脱等の技術演習による介護技術の習得</p>	<p>①地域包括ケアの取組の実際 3h ・社会保障の法体系・介護保険制度 ・介護職の役割と機能の理解</p> <p>②介護過程の展開(1) 3h ・観察の視点とアセスメント</p> <p>③介護過程の展開(2) 3h ・介護過程の展開と介護計画の立案</p> <p>④チーム介護 3h ・介護計画に基づくチーム支援</p>	<p>①地域包括ケアの取組の実際 3h ・包括ケアにおける介護職の役割</p> <p>②人材育成の基本 3h ・OJTの基本 ・ティーチング・コーチング技法</p> <p>③サービスの質の向上と指導 6h ・介護計画のPDCAサイクルの理解 ・介護の標準化、画一化の理解と実践</p>	<p>①地域共生社会に求められる福祉サービス 3h ・介護職に求められる役割の考察</p> <p>②組織理念と組織課題 3h ・組織課題と管理職の役割</p>
時間数	4.5日間・25時間	4.5日間・25時間	5日間・27時間	3日間・16時間

研修を受けて頂きやすくするために

- ◎新任期研修は、複数会場で実施。
- ◎年度内で受講できない場合は次年度で補講受講も可。
- ◎当人のキャリア階層から受講。